

# おおもり



令和3年3月8日  
東根市立大森小学校  
学校だより101号



## の花が咲く「大森小」!

2月19日 6年生を送る会が開催されました。在校生から卒業生へ、卒業生から在校生へ、贈り贈られる温かなまごころのこもった「ありがとう」。

毎朝 教室から聞こえてくる今月の曲「ありがとうの花」(下記参照) 友だちや先生、お世話になった人を思い浮かべ、思いを伝えるかのような優しい歌声が響き、校舎のいろんなところに「ありがとうの花」が咲いています。

「ありがとう」って言ったら みんなが笑ってる  
その顔がうれしくて 何度も「ありがとう」  
まちじゅうに 咲いてる 「ありがとう」の花  
風にふかれ 明日に とんでいく  
「ありがとう」の花が咲くよ  
君のまちにも ホラ いつか  
「ありがとう」の花が咲くよ  
みんなが 笑ってるよ (続きは省略)



### 学校生活の中にもたくさんの「ありがとう」

学校生活では、仲間と助け合い、課題を乗り越えていく活動があります。本校の特色のひとつとして、大規模校ではありますが、縦割り班(1~6年生までの仲よし班構成)による活動を意図的に仕組んできました。

学年を超えて、「ありがとう」の言葉が自然に交わされているのは、その中で得た「学年を超えたつながり」によって育まれたものであると考えます。

「ありがとう」の言葉が飛びかう空間には『笑顔』があふれ、温かな空気が流れます。さらにその言葉は、それを言った者にも心地よさをもたらしてくれるものです。

普段何気なく使っている「ありがとう」は、まさに「魔法の言葉」だと思います。

### 「校長室」での6年生との会食を通して

令和2年度先頭に立って、大森小をけん引してきてくれた6年生が間もなく卒業の日を迎えます。

3学期は6年生の皆さんと給食を食べる機会をいただきました。交代で給食を持参して、校長室に来てくれるのですが、それがとても楽しみで毎日わくわくしながら待っています。

子どもたちもはじめはやや緊張気味の様子ですが、徐々にリラックスして、会話も弾んでいきます。「小学校の思い出は何?」「中学校で楽しみなことは?」「将来の『夢』は?」等々・・・、とても幸せなひとときです。

特に、「夢」については、「まだ分からない」という子もいれば、具体的に「〇〇になりたい」と答える子もいます。今は明確ではなくても、何かしら意識を向けて答えてくれる姿に頼もしさを感じます。

## 夢を持ち、それに向かって進んでいくことの大切さ(卒業生へのメッセージ)

目的地が分かっている旅なら、分かれ道に出会っても、たとえ回り道をしたとしても、自分で自分を励ましなが  
ら進んでいけることでしょう。夢を持つことで、夢をかなえる可能性が生まれるのです。

2021年NHK大河ドラマ「青天を衝け」が2月14日から始まりました。主人公は、2024年に新一万円札  
の新しい顔となる「日本資本主義の父」と呼ばれた実業家「渋沢栄一」氏です。

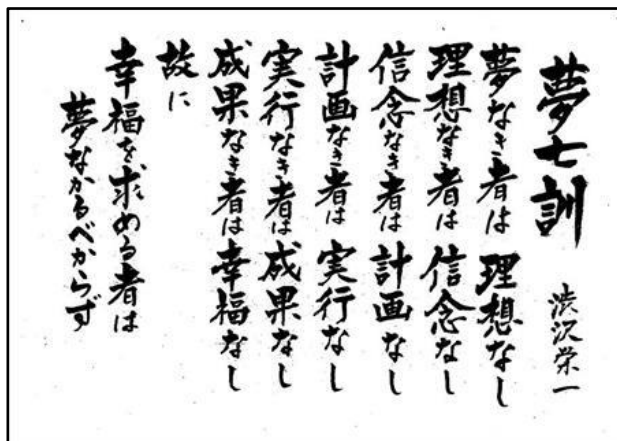
(興味がある子どもたちは、先日、全校講話でお話をした「なぜ」の思いを大切に調べてみましょう。)

渋沢栄一氏は、埼玉県の農家に生まれ、家業を手伝  
う一方で自分の信念を持って勉強にいそしみ、世の中  
名を残しました。

その渋沢栄一氏の言葉に、「長所(自分の良いところ)を發揮するように努力すれば、短所(悪いところ)は  
消滅(消える)する」があります。

また、「夢七訓」(右 原文)は特に有名です。

最後の言葉である「幸福を求むる者は夢なかるべからず  
は、「幸福になりたいなら、夢を持ちなさい」と表現  
されます。



卒業生の皆さんには、中学校生活で、目標(夢)を持って、充実した学校生活を送ってくれることを期待してい  
ます。大きな夢でもささやかな夢でも、皆さんの考えた夢は皆さんを支え続けます。夢が皆さんの未来を輝かせ  
てくれるでしょう。夢を持つことを大切に、夢を追うことをあきらめずに進んでください。

## 今年度 | 年間へのご協力に感謝・・・「ありがとうございました」

保護者の皆様、そして地域の皆様には、コロナ禍となったこの1年・・・例年以上のお力添えをいただきました。  
お陰様で、子どもたち一人ひとりの確かな成長を実感できました。これもひとえに、皆様方のご理解とご協力に  
よるものと心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

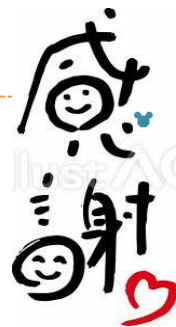
そして、いよいよ大森小は、次のステージに向かいます。この10年間で積み上げてきた「伝統」を礎として、「元  
気 本気 笑顔いっぱいの大森っ子」は、新たな挑戦を続け、これからも伸びやかに成長していくことでしょう。

今後も、私たち教職員は、保護者の皆様や地域の方々のお力をお借りしながらその子どもたちの健やかな成  
長を願い、そして熱い思いを持ちながら指導支援に努めていきたいと思っておりますので、次年度においてもどうかよ  
ろしく願いいたします。

## 心から感謝の思いを持って・・・「ありがとうございました」

最後に私事になりますが、今年度末をもって教員生活にピリオドを打つこととなりました。  
とりわけ大森小に勤務した3年間は、保護者の皆様や地域の方々から多大なるご協力を賜  
り、無事に学校運営を進めることができたことに心より感謝申し上げます。

大森小に奉職できたことを誇りに、今後も応援団として子どもたちの健やかな成長、そして「東根市立大森  
小学校」の益々の発展を願っております。  
(校長 土屋 常義)



次ページに、特別寄稿『どろんこの靴(改稿編)』を掲載し、「保護者の皆様へのエール」といたします。

❖ 10年前に書いた創作文「どろんこの靴」は、校長となった私自身の指標でもありました。これは、昨今のコロナ禍の中での学校経営においても、常に意識してきた私の思いであり、これからこの状況の中、子育てをされていく「保護者の皆様」へのエールとなればという思いで、原文を改稿編としてみました。

## 「どろんこの靴」(改稿編)

東根市立大森小学校 校長 土屋 常 義

「なんて汚い足なんだ!ちゃんと拭いてから家に入りなさい。」

雑巾を手渡しながら、父は玄関に残された靴を見下ろしました。どろんこの靴、いったいどこを走り回ってきたのやら…。土曜日の夕暮れまで楽しく過ごした冒険を靴が物語っているようです。父は自分の子どもの頃の記憶と重なって、思わず口元がほころんでしまいました。

これは、今よりも少し前、昭和と言われた時代の「ある家庭」における出来事です。日常のありふれた光景ですが、じんわりと心が温かくなってきます。



### どろんこの靴は今?

便利で快適、そして物の豊かな時代の中で、子どもは家事や家業の手伝いをしなくてもすむような家庭が多くなりました。同時に、子どもたちが群れて外で遊ぶ姿もほとんど見られなくなりました。その結果、子どもたちが人としての成長過程で大切な、靴をどろんこにするような「自然体験」や「社会体験」の場が少なくなり、「人と人との関わり方」や「他を思いやる心」など自然と身につけられる機会まで失われた感があります。

### 人と人との関わりが社会を支える

平成23年3月11日、午後2時46分に発生した東日本大震災、甚大な被害は、記憶から消えることはありません。しかし、その中においても、実際に被害にあわれた被災地の方々は、未来に向けて「夢」を語り、様々な方々との「出会い」や手助けを支えとし、復興に向けて着実に前に進んでこられました。まさに、人間の強さとしなやかさ、そして可能性を教えてくれていると頭が下がりました。

「家族と一緒に過ごすことなど、あたり前の毎日を感謝できる人であろう」、「他人ごとと思わないで、みんなで力を合わせて、乗り越えよう」と、笑顔と共に届ける彼らのメッセージが今も心に残っています。失われたものの代わりに人として大切にしなければならない「人と人との関わりや、他を思いやる心」を呼び覚ましてくれたことも事実です。

一方で、近未来社会は、「5G」の利用により飛躍的な発展と超利便性の高い生活を実現しようとしています。

### コロナ禍の中においても、「今できること」を考えながら…!

そして、昨年度末から世界規模で拡大した新型コロナウイルス感染症…。三密回避など、今までの生活様式を大きく変えなければならない現実と直面しています。これまで、学校教育や社会教育(家庭教育)においても大切に育んできた「人と人との関わり」ができない状況になっています。関わりが不足する中で、子どもたちに社会性が身につかなくなるのでは…と危惧され、今後どのような課題が出てくるのか見えてこない不安もあります。しかし、私たちは、これまでも幾多の困難を乗り越えてきました。自分の中にある逆境から立ち直る力「レジリエンス」を発揮し、諦めず工夫を重ね、チーム学校(家族)の絆を強くして、子どもたちを支えていくことが大切だと考えています。

今、正直、「どろんこの靴」を履くような時代ではありませんが、私たち大人が、子どもたちに意識的に関わっていくことで、あたり前の生活がこの上ない幸せであるということや、人と人との支え合う絆のある社会がとても素晴らしいということをより実感してもらえんと思います。そうすることで、「どろんこの靴」と同じ、心が温かくなる学びの環境づくりができると信じています。

まだまだ思い通りにならない状況は続きそうですが、保護者の皆様には、今の「不安や不満」が「希望」に変わることを信じて、これからも、「今できること」「今しかできないこと」を意識して、子どもと共に「遊び・笑い・そして、育ち合う」…。そんなことを意識されながら、お子様と向き合っていただければと思います。「人を育てる」ということは容易なことではありませんが、日々、頑張っ(顔晴っ)て子育てされている保護者の皆様には、心から「エール」を送ります。

## ◇子ども達の学習の様子を見てください ～分散型授業参観～



コロナ禍の影響を受け、なかなかできなかった授業参観を、三密を避けた分散型でようやく行うことができました。

教室での子どもたちの様子、担任の先生の授業、待ちに待ったことではないでしょうか。

来年度は、4月に時間帯による分散型で授業参観を実施しようと計画中です。

また、今回、お仕事等の都合でお越しになれなかった保護者の皆様には、学校にご連絡いただければ、学習中の子どもさんの様子を見てもらうことができますので、ご相談をください。

## ◇ありがとうみんな！ ～6年生読み聞かせ会～



大好きな6年生



真剣そのもの！



真剣そのもの！

「お世話になったみんなに何かしてあげたい！」そのような思いがあつての読み聞かせ会です。他にもダンスや歌、お笑いライブの発表と、感謝の気持ちと楽しみをもって学校生活を創っていく子ども達です。

## ◇僕たち私たちの安全 ありがとう！ ～安全を見守ってくださる方々への感謝の会～

いつも子ども達の安全を見守ってくださる方々へ感謝の気持ちを込めたメッセージ等を送り、感謝の気持ちを伝えました。本来なら、たくさんの方に来ていただいていた、この回を開催したいところでしたが、感染防止の観点から、交通指導員さんと各団体の代表の方においでいただきました。会の後には、通学路のことや挨拶、歩き方等、安全に登下校できるよ



うに情報交換会を持ちました。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。

## ◇コロナ禍に負けない創意工夫 ～6年生を送る会～

コロナ禍であっても、6年生のリーダーシップやその存在感は本当に素晴らしい6年生でした。そのような6年生、5年生が中心になって感謝の気持ちを伝えました。ゲームや交流はできませんが、スライドで振り返る6年生の姿や手作りのプレゼント、光のイルミネーションには4年生のペットボトルランタンが活躍。アイデアいっぱいの中、心温まる会になりました。6年生の皆さん「ありがとう」。5年生の皆さんこれからの大森小学校を「よろしくお願ひします」



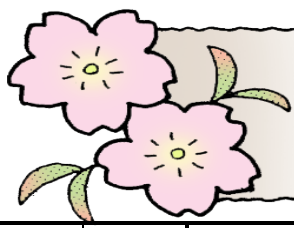
「ありがとう」手作りのメ



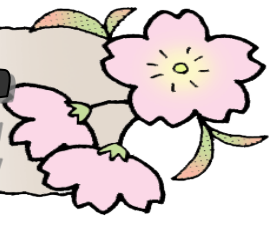
嬉しいです。



5年生の皆さん、頑張りまし



# 3月~4月の主な行事予定



日	曜	校内行事
9	火	集会（児童会引継ぎ式）
10	水	校外子ども会
11	木	3年そろばん授業 校長講話・黙とう
12	金	3年そろばん授業
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	朝会（基金会表彰） 卒業式練習
17	水	午前授業 6年修了式 卒業式準備 5年弁当日
18	木	第10回卒業式
19	金	午前授業 1~5年修了式
20	土	春分の日 4/6まで年度末始休業
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	離任式 児童登校日 教室移動作業（5年）
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	新1年生クラス掲示（午後4時）
6	火	
7	水	新任式 始業式
8	木	入学式 6年弁当日
9	金	午前授業 校外子ども会 一斉下校
10	土	
11	日	
12	月	給食開始（2~6年） 知能検査
13	火	朝会（生活のきまり） 学力テスト①
14	水	1年給食開始 委員会活動 学力テスト②
15	木	P T A運営委員会 学力テスト③
16	金	学力テスト④

## 児童会引継ぎ式

来年度の計画委員及び各委員会の委員長が決定しました。9日の集会で引継ぎ式を行います。今年度は、様々な制約がある中で、「今できること」を工夫して行ってきた6年生。1年間ありがとうございました。今度は、5年生がしっかりとバトンを受け継ぎ、大森小学校を引っ張っていってくれることでしょう！

## 第10回 卒業式

3月18日（木）

大森小体育館

8：40～ 受付

9：30 開式

※ 今年度、保護者の方のご出席は各ご家庭2名までに限らせていただきます。お子様連れもご遠慮ください。ご協力をよろしくお願いいたします。



※入校の際は、健康観察カードの提出と手指消毒、マスクの着用をお願いします。

◎ 新年度の予定は、現段階でのものになります。今後変更になる場合もありますのでご承知おきください。